

第1学年 英語科 学習指導案

日 時：平成30年11月21日（水）第5校時
指導者：教諭 三浦 美和子
ALT Alexander Chila
場 所：視聴覚教室

1. 単元名

ALT に美都中の行事について説明しよう！

“チャイナタウンへ行こう” New Horizon English Course Book 1 Unit 9

2. 単元の目標

○美都中の行事について、場面にふさわしい表現を用いて相手に分かりやすく伝えることができる。
(外国語表現の能力)

○間違いを恐れずに積極的に自分の意見を相手に伝えようとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○現在進行形、否定命令文、be 動詞の命令文について、その形、意味、用法に関する知識を身につけている。
(言語や文化についての知識・理解)

3. 学習の基盤

(1) 教材観

本単元では、現在行っていること、動作を表す表現や命令文が扱われている。これまで現在の状況の表し方を学習してきたが、この単元からは現在継続中の動作について表現できるようになる。

Part1 では現在進行形の肯定文、Part2 で現在進行形の疑問文とその応答文、Part3 で否定命令文、be 動詞を用いた命令文が取り上げられている。特に Part1 では、ベーカー先生が店内でビデオを撮影しながら実況中継をするという内容になっているため、自然な形で現在進行形を導入するのにふさわしい教材であると考えます。また、命令文については、Unit4 で一部学習済みであるが、本単元で新出の Don't や be 動詞の命令文と併せて用いることで、生徒の表現の幅を広げることができると考えます。

文化面については、チャイナタウン、中国の伝統芸能、中国の漢字の意味が取り上げられており、英語圏以外の文化についても知ることができる。また、多民族国家であるアメリカの背景を知る機会にもなりうる教材である。

(2) 生徒観

〈個人情報保護のため省略〉

(3) 指導観

本単元の学習を通して現在進行中の動作と現在形の違いについて理解し、実際の場面の中で積極的に運用できる力を身に付けさせたい。そのため、最終目標として「ALT に美都中の行事について説明しよう！」を掲げ、ALT に学校行事の動画を見せながら分かりやすく場面説明できるように指導していきたい。説明する際には、現在進行形や現在形も含め、既習の表現（場所を表す in, at など）も加えながら、より詳しい内容説明ができるところまで高めていきたい。また、英語の

基礎的事項が定着していない生徒たちも、より自信をもって活動に取り組めるよう、導入にあたっては、シンプルな動画を口頭で説明することから始める等、スモールステップで新出事項の定着が促される工夫を取り入れていきたい。

ICT 機器を効果的に活用することで生徒の知的好奇心を喚起し、全員が興味・関心をもって積極的に学習に取り組める指導を心がけたい。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①間違いを恐れずに積極的に自分の意見を相手に伝えようとしている。 (話すこと・言語活動への取り組み)	①美都中の行事について、場面にふさわしい表現を用いて相手に分かりやすく伝えることができる。 (話すこと・適切な会話)	/	①現在進行形の形、意味、用法に関する知識を身につけている。 ②否定命令文、be 動詞の命令文の形、意味、用法に関する知識を身につけている。 (書くこと・言語についての知識・理解)

5. 単元の指導計画と評価計画

時	○目標 ・主な学習活動	評価				主な評価方法
		関	表	理	言	
1 本 時	<p>○ALT に美都中の行事について分かりやすく伝えることができる。(単元の目標)</p> <p>○間違いを恐れず写真の場面説明を進行形を用いて伝えようとしている。(本時の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・ビデオを見て、どのような場面で現在進行形が使われているのか理解する。 ・現在進行形を用いて画像の場面説明を練習する。 ・現在進行形を用いて美都中の教員を紹介する。 	①				活動の観察
2 3	<p>○現在進行形を用いた文(否定文、疑問文と応答文)の構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベーカー先生の実況中継、咲たちの会話文を通して、現在進行形を用いた否定文、疑問文と応答文の構造を知り、その使い方について理解する。 				①	ペーパーテスト (後日)

4	○現在進行形を用いて自分の一日の生活について相手に伝える。 ・自分の一日の生活行動をジェスチャーで示し、それぞれのシーンについて現在進行形を使って相手に伝える。		①			活動の観察
5	○命令文を用いた文の構造について理解する。 ・マイクと光太の会話を通して否定命令文、be 動詞を用いた命令文の構造について知り、その使い方について理解する。 ・写真を見ながら学校ではしてはいけないことについて否定命令文を使って相手に伝える。		①		②	ペーパーテスト (後日) 活動の観察
6	○ALT に美都中の行事について説明することができる。 ・学校行事に関する動画の内容について ALT の前で説明する。	①	①			観察 パフォーマンステスト (後日)

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- 間違いを恐れず写真の内容について積極的に相手に説明しようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

時 (分)	・学習活動	・教師の支援		・評価規準 (評価方法)
		T1	A L T	
10	ウォームアップ ・あいさつをし、歌を歌う。 ・教師との簡単な英語での QandA 活動をする。 ・生徒同士で QandA 活動をす	・英語学習の雰囲気づくりができるようにする。 ・単語カード等を用いて質問にスムーズに答えられるように支援する。 ・前時の復習事項も質問に取り入れ、既習事項の定着を促す。 ・生徒同士の会話	・英語学習の雰囲気づくりができるようにする。 ・発音、アクセン	

	る。	練習を個別に支援する。	ト、イントネーションなどを個別に支援する。	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・単元及び本時の目標と流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ALT に美都中の行事と先生を紹介しよう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを見て、どのような場面で現在進行形が使われているのかを理解する。 ・現在進行形が「be 動詞＋～ing」で構成されていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を知ることによって、学習への見通しがもてるようにする。 ・黒板にキーワードを掲示し、視覚に訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを見せながら英語で説明をする。 ・ビデオを見せることにより、現在進行形が使われる場面についてしっかりとイメージをもたせる。 ・生徒の理解度に合わせながら場合によっては繰り返しビデオを流し英語で説明をする。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の提示する画像等を見て、場面を説明する表現を全体で口頭練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味を引く画像を提示する。 ・画像を拡大するなどして、その場面 		

15	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに配られた写真に写っている教師の紹介を考える。 ・ALT に教師の紹介をする。 	<p>が分かりやすくなるよう配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭練習を繰り返すことで主語に合った be 動詞と ~ing 形がスムーズに出てくるようにする。 ・生徒の理解度に応じて既習事項も口頭練習に取り入れ、表現が広がるように工夫する。 ・紹介例を示すことで活動がスムーズにいくように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音、アクセント、イントネーションなどを支援する。 ・紹介に使えるような表現を教える。 ・紹介を聞くとともに必要に応じて英語で質問し、より積極的に紹介が進むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、写真の内容について積極的に相手に説明しようとしている。 (観察)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について振り返る。 ・紹介例をノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介例をノートに書かせ、本時の学習について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動について感想を言う。 	

(3) 本時の評価と支援

評価の観点	十分満足されると判断される生徒の具体例	概ね満足とされる生徒の具体例	支援が必要とする生徒への指導の手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	間違いを恐れず、相手に伝わるように必要な表現を用いて積極的に説明しようとしている。	間違いを恐れず、内容について相手に説明しようとしている。	正しい文を組み立てるヒントを与えたり、単語の意味を教えたりする等の支援を個別に与える。

(4) 研究の視点

- ・ 目標を達成するために本時の言語活動は適切であったか。